

◎ 家庭科部門（小）

1 行事及び内容

（１）研究委員会

- ①第１回研究委員会 平成２８年８月４日（木）
- ・天草教育研究所部会長会及び県評議員会の報道
 - ・平成２８年度の事業計画
 - ・家庭科部門研修会について

- ②第２回研究委員会 平成２８年１２月１日（木）
- ・実技研修会

- ③第３回研究委員会 平成２９年１月１７日（火）
- ・研究大会参加の報道、感想
 - ・家庭科部門研修会の成果と課題
 - ・年間反省と来年度への方向づけ

（２）本年度の研修について

- 九州地区小学校家庭科教育研究大会鹿児島大会への参加（資料参加２名）
平成２８年１０月２８日（金）鹿児島市立紫原小学校
研究主題 「自分の成長を実感し、実践への意欲を高める家庭科教育」

- 熊本県小学校家庭科教育研究大会人吉球磨大会への参加（資料参加を含め４名参加）
平成２８年１１月１８日（金）人吉市立東間小学校
研究主題 「自立的に生きる基礎を身に付け、
よりよく生きる子どもを目指して」

- 天草教育研究所家庭科部門研修会
期日 平成２８年１２月１日（木）
場所 天草教育会館
内容 実技研修会（小物づくり）
５年手縫い「はじめてみようソーイング」
６年ミシン縫い「楽しくソーイング」
講師 天草市立牛深小学校
久保山有紀 教諭
参加者 １４名



〔授業の成果〕

- ２枚の布を重ねて作ったお弁当袋は、ミシンの直線縫いで取り組みやすい作品であるが、予想以上の仕上がりで児童が喜ぶ教材だと感じた。ネームプレートは磁石を入れるという工夫があり、子どもたちの発想が膨らみ、他の作品も作ってみようという意欲が高まりそのような教材であった。
- 家庭科部門所属の先生方以外の参加や男性の先生方の参加がありとても良かった。また研修後に授業に生かしたいという声が聞かれ、実技研修の成果を感じた。
- 参加者の先生方に、開発教材や家庭科指導案の持参を呼びかけていたところ応えてくださり、みんなで共有し勉強になった。

2 成果と課題

- 実技研修では作品作りだけでなく、情報交換や親睦も深めることができ有意義だった。
- 来年度は、平成３０年度の天草大会に向け、研究の方向性や組織作りを推進していきたい。